

豊庄だより



第 533 号 2018 年 9 月 18 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

中学校には総合学習という時間があり、学年ごとに決められたテーマに従って、教科の時間とはちょっと違った取り組みをしています。問題解決能力や自主的に学んでいく力をつけるという目的があります。豊庄保育園にも毎年3~4の中学校から「職場体験学習」の依頼があり、短大や大学からの実習に支障のない限り、最大限に受け入れています。中学生の時から保育士の仕事に関心を持ってもらい、この中から一人でも保育士を目指す人が生まれたいと思っています。また、私が中学校に勤めていた時、実習先を探すのに苦労した経験があり、中学校から頼まれると、「イヤ」とは言えないという思いもあります。

実習の前、必ず事前の打ち合わせをします。その時のことです。「僕たち、どんなことをすればいいんですか？」と、初めての保育園での仕事に不安を感じながら、ある男子生徒が聞いてきました。まじめに取り組もうとしているんだなあと思いながら、「心配ないよ。子どもたちは、『お兄ちゃん先生』と呼んで、ベタベタと自分から寄って来るから」と話しました。2日間の「職場体験」は、あっという間に過ぎ、中学校から（感想を交えた）お礼状が送られてきました。一部紹介します。

★T君からのお礼状：「このたびの職場体験ありがとうございました。5歳の担当でしたが、みんな一人一人違い、遊びを巡ってケンカをしたり、様々なことをしていたのを、僕とA君でなだめることがすごく難しいと思いました。また、それを毎日行っている保育士さんの苦労が伝わりました。豊庄保育園の園児たちは元気いっぱい、たくさんしゃべったり遊んだり、すごく楽しく、普段しない本を読んであげるなどを体験でき、園児をお世話する立場ではなく、お世話されているような感じでした。最初はわからないことばかりでしたが、園児たちとふれ合ううちにおぼえたり、担当の先生に教えてもらったりとありがたい限りです。僕は将来、教育関係の仕事につきたいと思っているので、この経験を活かす日が来ると思います。その時はしっかりと思い出して、子どもたちと心を通じ合っていきたいと思います。」

★Oさんからのお礼状：「私が一番心に残っていることは、先生方がいつも第一に子どもたちのことを考えて、気にかけていたことです。食事の時間には、子どもたちが食事のマナーをきちんと守っているか、食べ物がのどに詰まっていないか・・・などなど、一人ひとりに気をかけている姿は、私にとって、とても心に残っています。大変な時、忙しい時、いつでも先生方は笑顔でした。そんな先生方は、私のあこがれです。」

★K君からのお礼状：「豊庄保育園での仕事で大変だったこと、思い出に残ったことは、たくさんあります。例えば、幼児たちとブロックで遊んだことやささいなことも思い出に残っています。でも、幼児と接している中で、少しきついと思うこともありましたが、それが別れの時になると、きついこと全てが、なんとなく楽しかった思い出になりました。この職場体験を通して考えたこと、気付かされたことを、今後の学校生活に生かしていきたいです。」



7月4日（すみれ組）

保育士養成校からの実習生も実習終了後お礼状が来ますが、形式的で保育園の名前を変えればどこでも通用するお礼状がほとんどで、あまり読む気になりません。それに比べ今回の中学生の文章は、ありのままの様子が書かれていて、実に生き生きしています。